

Share The Vision

ライオンズクラブ国際協会



333-C 地区ニュース

1982-83 No.5

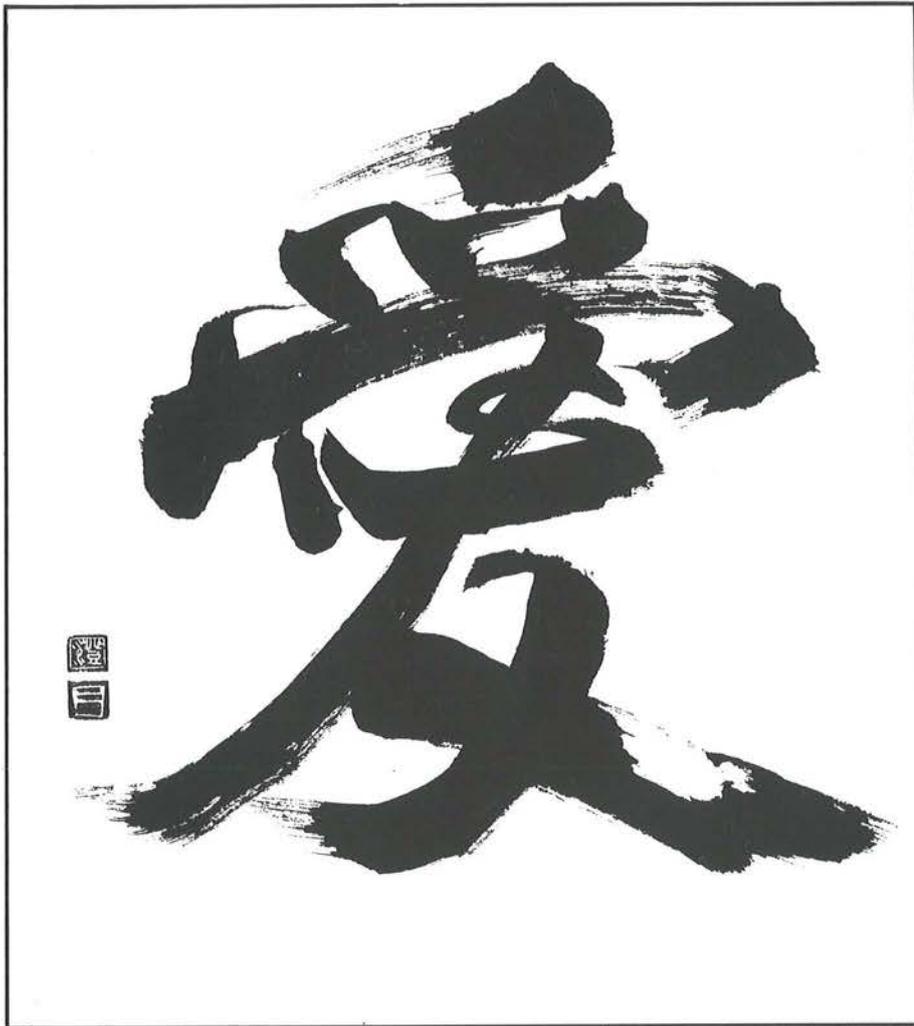
1983. 4. 20

しあわせ あした
愛の手で幸福の明日を



主な内容

ガバナーの便り	2
夏 秋 冬 春	4
DDGシリーズ	5
委員長シリーズ	6
市側と市内6クラブ総合対話	7
しげんめいげん	9
アクティビティ集計表	11
若人の叫び	13



6R2Z ZC L関 国蔵(書家)

—— 愛こそ人間に与えられた最高の財産である ——

地区ガバナー L藤田 定男

人間のもつ感性の最高の結晶は愛なのかもしれない。その愛の根源から立脚したライオニズムは、人類にとっては、永遠の灯しである……とライオンズの真髄であるこの「愛」の一字に書家であるL関は、その心魂をこめ表現したのかもしれない。

INTERNATIONAL LIONS



ガバナーの便り



国際会長とともに

一人でも多くの会員と

333-C地区ガバナー L 藤田定男

333-C地区が分割されて二年になります。この単県独立の意義は、確かにキャビネット予算は縮小され窮屈になるとは言うものの、ガバナーと各クラブ・キャビネットと各会員が直結し、意志の伝達がより容易に行われる事に意義があると思います。

ガバナーと各会員がより親密になり、お互いに意見の交換を計り、依って各クラブの進歩とキャビネットの前進と言う車の両輪の役割をはたし、そしてライオンズの一層の高揚を計ろうとするものであります。

ガバナー公式訪問に於ても出来るならば各単一クラブを夫々訪問したかった。しかしながらガバナー就任後短期間に於て全てのクラブを掌握するには、物理的に言ってああいふゾーン単位の訪問と言う形を取らざるを得なかった。これは私の意とするものではなかった。それ故に私は今迄、周年行事に関ら

ず単一クラブであろうとなかろうと、御招待を受けたクラブには喜んで参上致し、各会員と行動を共にし、喜びを分かちあって来ました。ですから任期も残り少なくなって参りましたが、私のような者でも出席する事に多少なりとも意義があるとお考えのクラブは、御遠慮なくキャビネット幹事までお申し出下さい。私の体力と時間の許すかぎり、何処へでも参上する気持ちであります。

そして一人でも多くの会員と親しくなり、共に語りあい、喜びを分かちあい、悲しみを慰めあい、333-C地区を一家とする理想的な姿にしたいと念願するものであります。残された任期、皆様と手を取りあって邁進したいと思っております。皆様の御健勝と御活躍を心から祈ってやみません。



第3回 キャビネット会議開催

1983. 2. 11 於サンペデック

司会進行 CAB幹事 L吉田 政勝
CAB副幹事 L鈴木 栄

- | | | | | | |
|---------------|--------|--------|-----------------|-----------|--------|
| 1. 開会宣言 | 地区ガバナー | L藤田 定男 | 11. 幹事報告 | CAB幹事 | L吉田 政勝 |
| 2. 開会のゴング | | 全 員 | 12. 会計報告 | CAB会計 | L渡辺 貞雄 |
| 3. 国旗に敬礼 | | 全 員 | 13. 会計監査報告 | 地区会計監査 | L関口 博之 |
| 4. 国家斉唱 | | 全 員 | 14. 地区委員長報告 | 各地区委員長 | |
| 5. 物故Lに黙禱 | | 全 員 | 15. リジョン運営状況報告 | 1R~7R各DDG | |
| 6. ライオンズヒム斉唱 | | 全 員 | 16. 年次大会企画並報告 | 年次大会委員長 | L田野憲宥 |
| 7. 参加者紹介 | | (司 会) | 17. ガバナー提出議案審議 | 議長 | L藤田 定男 |
| 8. 地区ガバナー挨拶 | | L藤田 定男 | 18. 議決事項確認 | CAB副幹事 | L渡辺 惇 |
| 9. 前地区ガバナー挨拶 | | L吉原 稔人 | 19. 閉会宣言・閉会のゴング | 地区ガバナー | L藤田 定男 |
| 10. 名誉顧問会議長挨拶 | | L斉藤 貞雄 | | 休憩 ~ 懇親会 | |

ガバナー提出議案

- 1983~84年度地区ガバナー候補として 千葉中央LC会員L石橋 光を推薦したい。
(決議)
原案の通り L石橋 光を推薦する。
- 第29回333-C地区年次大会収支予算案 その他関連事項の承認の件
(決議)
原案の通り承認する。(費目間の流用を認める)
- 次年度へのCAB運営の円滑な引継ぎを計るため、次期CAB幹事、会計予定者を、本年度CAB運営特別委員会委員とする。
(決議)
原案の通り承認する。
- 第1R第2Zは10クラブあるが、これを下記の如く二つのゾーンに分割する。
1R2Z 松戸C 流山C 松戸中央C
松戸東C 野田C
1R3Z 柏C 我孫子C 柏中央C
柏グリーンC 印西C
(決議)
原案の通り分割する。
- 地区協同ACTについて
前回の決議で原則的にはその趣旨に賛同しているので、積極的にご協力を賜りたい。
- 333-C地区災害緊急援助資金規定について
(決議)
来る1958年5月8日の地区年次大会において333-C地区災害緊急援助資金の設定を提案し、承認をうけて本資金をもうける。
提案規則案の策定はガバナーに一任する。





夏 秋 冬 春

ライオンズを問いなおす



333-C地区名誉顧問 L 杉浦 明

小学も5年となれば出で移り居所不明とて
学校に来ず 筏井 嘉一

校内暴力を報ずるニュースは、ほとんど毎日のようにテレビや新聞をにぎわしている。遂には先生が生徒を刺し、生徒は生徒で浮浪者を死に至らしめ、女子中学生が、男子生徒もまじえて、学校委員会の役員を素巻きにして暴行を加えた。

たまりかねた文部省政務次官が、事件のあった都内の中学校を視察したという。その映像に間仕切が破壊されて、便器がむき出しになった態もクローズアップされていた。実に慨嘆にたえない光景であった。シンナー・麻薬・売春と青少年非行はとどまることを知らぬありさまである。

なぜそうってしまったのであろうか。その原因は決して、単一・単純なものではあるまい。戦後の教育制度の問題点もあるであろうし、政治の腐敗墮落も数えられよう。あるいはまた、教師の問題、父兄の問題、更には生徒自身の問題、学校も家庭も、地域社会もすべてがからみ合った複雑なものであり、しかもその傷は深い。

即ち、これらの問題は我々の想像を絶するところまでエスカレートしてしまっているといわねばならない。

頭書の短歌は、昭和初年の頃の恐慌当時の作品でもあろうか。作者筏井嘉一は、東京の下町で小学校の先生をされていた。その頃の貧しい下町庶民の生活の実態を詠んだものであろう。

当時は、小学校も5年生位になると、貧しい生活の支えとして日雇などの労務に服させられていたのであろう。勿論小学校は欠席である。教師としては堪えがたい明け暮れであったことだと思う。

これに比べて今の時代は、国民すべて中産階級などと言われる裕福な時代である。

物の豊かさに慣れ、ありがたさが忘れ去られてしまっている。精神的貧困である。

ライオンズクラブでは、早くから青少年問題を取りあげて、アクティビティを行ってきた。それらはそれなりの成果を挙げてきたものとおもわれる。

しかし、さきに記したように、それとはうらはらに青少年の非行化は、ますます深刻の度を加えてきつつある。

ライオンズクラブの歴史をひもといてみれば、草創の頃はアメリカはドイツに宣戦し第1次世界大戦

に参加した。ライオンズ・ヒムに唱われているとおり、戦の魔手より国を守るためには、生命と名誉と富をかけなければならなかった時代である。

手をつないで「また会う日まで」を唱って別れたのも故なきにあらざであったろう。

時が移り、人がかわるにつれて、草創の精神が失われ、形骸だけがセレモニーとして残ったのでは、真のライオンズヒムは死んでしまう。

アクティビティも時代とともに変わるべきであるとおもう。

なぜならば、アクティビティはその地域で真に求められているニーズにそうものでなければならぬからである。

荒れ狂う校内暴力・家庭内暴力の問題に目をそむけて、今日のアクティビティがあるであろうか。

スポーツの振興によって青少年の非行化を防止することも、たしかに一方法ではある。弁論大会の開催もそれなりの成果を挙げてきた。

しかしながら、もはや、それだけで充分であるとは言いきれない時代になってしまった。

教師も父兄も、政治も社会もあげてこの問題と取り組まなければならない現況である。

ライオンズクラブは、地域社会とともに相携えてこの問題と取り組むべきではないだろうか。

青少年健全育成委員会を設けているクラブでは当然この問題のメイン委員会となるであろうが、他の委員会についても、当然これと関連づけられる事業を検討すべきではないだろうか。

教育委員会、市民委員会、保健委員会、レクリエーション委員会、公衆安全委員会など、更には、PR・会報委員会等の活動。ライオネスクラブでは「母と子」の問題を、レオクラブでは、直接青少年対策の積極的な活動の促進を、あるいはYE・国際交流なども協調する部分がありはしないだろうか。

要するにクラブを挙げて、地域社会のリーダー的役割を分担できるならば、地域社会とライオンズクラブとの結びつきは一層強固なものとなるであろう。

新しいライオンズあり方、新しいアクティビティのあり方を真険に問い直すべき時に遭遇しているように思えてならないのである。

このことは、引いてはライオンズクラブの存立を問い直すことでもある。



D D G シ リ ー ズ

今ごろの時期

2 R D D G L 小泉 昭

ライオンズカレンダーも後半に入ると流れは一変する。役員任期が1年である以上、短期間に自らの方策を打立て、侵透を図り、結実させて行かなければならない転回となる。地区ガバナーにとっても、クラブ会長にしても前期の半年が勝負で、あとの半年はとり纏めの期間になってしまうのはいたしかたない。2月に入ると地区においては次期ガバナー候補が決まり、クラブでは指名委員会なるものが出来て事実上次期の会長が明らかにされる。

第3回CAB会議が終ると殆んどの神経は年次大会に集中することになる。大会のハイライトはガバナーエレクトの出現ということだろうが、それとてセレモニーであって事実上は正月過ぎ頃には決まっていることで、その間にリジョンブロック或はクラブ等に於て次期人選のあれこれが囁かれるのが今時分である。

もう一つの関心事はアワードのことだろうか。D D GもZ Cも傘下クラブの順位づけには頭を痛める。受賞洩れクラブの方が少ない状態にでもなると困るような気懸りも出てくる。かって私がCAB幹事の時アワード論議をしたことがあった。内局員が紅白に別れて、紅はアワード廃止論、白は総花的発行論という設定で始めたが、論は論を呼び白熱的激戦となった。紅軍の主張は、賞である以上100に対してせいぜい10位を顕賞することに価値があるのにそれを90も表彰すれば逆に10を譴責することにつながる、という筋立てであり、白軍の方は、アワードによってクラブの氣勢が上り運営上プラスになっている状況を無視することは出来ない、と言う論法であった。勿論その程度の単純な応酬に終わったわけではなく、細部に亘って口角泡を飛ばし合ったことであったが、考えてみればどちらが正論であったかの事ではなく、それから6年を経た今日迄アワード有用論が踏襲され、それ以上に乱発歓迎の現状となっていることを見れば、当時慎重論派であった私も、斯くなるうちは理由を探し出してでも全クラブに出してあげたら良いと思うようになっている。

こんな事も考える。止むを得ないスケジュールで2月末で成績が打切られ、以降はつい継子扱いになってしまって、奉仕活動は2月迄に。なんていう考えも出てくる。そんな考えはもってのほか、等の力説は建前論であって、本音は見えずいている。それも制度の因から出るもので止むを得ない。役員任期

協同アクティビティ
献血車に望む

6 R D D G L 多田辰雄

光蔭矢の如しとか、いつの間にやら種々の行事に追われ乍ら、3分の2期が過ぎて仕舞いました。各クラブにおいても残された事業の話に入っております。第3回のキャビネット会議もスムーズに終了し、年次大会に向けて、最後の追込みの時期となりました藤田ガバナーの方針である「愛の手で幸福の明日を」を更に認識するとともに、残期を誠実その責を果したいと希っております。過口のキャビネット会議に於て決議された、大型共同アクティビティを、心を一つにあわせる協同アクティビティと表現し、献血車の贈呈が実現する事になりました。第2 R D D G L 小泉、地区A C T委員長L渡辺の熱意ある努力の賜ものと敬意を表したい。この決議をみる迄何回かの会議において論議が繰返され、討議が重ねられ、吾々の信頼する藤田ガバナーの協同アクティビティ献血車に対する決意がハッキリと打出された。それに対する意見はともあれ年次大会々場に献血車を展示される以上この実現にむかって協同の力を発揮しなければならない。大会以前に抛出金の完遂に務めるべきである。われわれはライオンズマンである以上？とは申せ現在の各クラブの実状を見聞する時それぞれの計画事業、継続的アクティビティ、又はリジョン内の協同アクティビティ等を見、地域に即した奉仕活動を考えた時、どの様にして各クラブ員に心からの賛同を得る事が出来るか、今私は各ゾーンチャマンと協力し乍ら各クラブを訪問したり、機会ある毎に献血の尊さと、明日は吾が身が献血の血を必要とするかを考え、今日一日の無事を100円玉に托して3月1ヶ月だけでも貯金をして、会員一人最低3,000円を目標に5リジョン全クラブが3月末に完納出来る様お願いをしております。1日100円玉1個の実践で献血車を、愛とは思いやりの心であり、思いやりは実践する事であるといわれます。

「愛の手で 幸福の明日を」を希って精進しましょう。

などと絡めて、この辺のところには何かうまい方法はないものか、などくだらないことも頭に浮んでくる。こんな冗戯に類するようなことなど考えるのも毎年今頃の時期なのである。



委員長シリーズ

年次大会近づく

年次大会委員長 L 田野 憲 宥

愈々年次大会も目睫の間に迫り、気持ちとしては年次大会に追いかけている感じが致します。

5月8日の準地区年次大会、5月22日の複合地区年次大会に向って我が委員会の作業も活発化し、去年12月末の経緯を述べて今後メンバー各位の一層の御協力を願うものである。旧冬12月28日は年次大会に係わる一切の書類即ち案内書、申込書、送金通知書等々を準地区74C、複合298Cに対し発送を完了した。その後は1月23日サンペデックに於いて準地区4ホストC、複合地区9ホストCの各副委員長及び各Cの幹事さんとの準備会を持ち夫々ホストCの役割り持ち分について各部会の作業の進退状況などについて各ホストCから聞き、さらに検討、確認をしました。

さて愈々待望の2月22日がやってまいりました。委員会としては首を長くして待っていたわけなので早速CAB事務局にて準地区、複合地区の両面について夫々集計した結果2月21日現存の各Cからの回答は次のような結果を得ました。

先づ準地区について見ますと次のようです。

準地区74C中回答のあったクラブは44C、59%強、参加者総数1,002名、内代議員227名、ライオネスの参加は4Cで44名、レオクラブは3Cで51名となっております。

次に複合地区に関しては次のとおりです。

A地区102C中、回答43C(42%)参加総数190名、内代議員135名、前夜祭70名の参加。

B地区122C中、回答40C(37%)参加総数220名、内代議員190名、前夜祭65名の参加。

C地区74C中、回答40C(54%)参加総数626名、内代議員148名、前夜祭は91名の参加。

全体298C中129Cの回答は43%です。

もう少しの頑張りです。各未回答Cはふん張ってもらいたい。

毎回申しますように年次大会の基調としましては大会は一年間の研鑽と精進の成果を持ちより、その功罪をつぶさに検討して次年度の最も効果的な奉仕活動のあるべき姿をさぐり活力とすることに意義があると考えます。その意味ではこの大会に参加することが大切ではないでしょうか。年次大会に参加してこそ真のライオンズ活動があります。多勢の参加者の知性と熱意と友情による人の和で、良識の団体であるライオンズの大会なりと自他共に感動する大会にしたいと思ひます。各位の一層の御協力をお願いいたします。

県下高校生弁論大会を終わって

高校弁論大会実行委員長 L 手塚 勇

国家の財産の中で、最も大きな財産は「青少年である」私たちライオンズクラブは、その青少年健全には各クラブ共熱意をもって取り組んでいるが、C地区キャビネットとしても、前年度から県下高校生の弁論大会を実施して、最優秀者を青少年交換プログラムによって、夏期6週間外国に派遣することとしている。

その派遣生を決める県下高校生弁論大会が、去る1月22日午前10時から千葉市で開催された。

今回の申込みは14校で24名(当日1名欠席)で、前年より6名多かった事は、ライオンズの趣旨が浸透した結果と思われる。

「弁論は説得の芸術なり」と云われるが、将にその感を強くした。中でも桜ヶ丘養護学校の松本礼子さんの弁論は、肢体不自由な上に、言語障害もあるにもかかわらず、自分の境遇や体験の発表は、たどたどしい言葉の中に聴衆の胸中深く訴えるものがあり、涙をさそった。

審査の結果は次の通りであった。

最優秀賞 千葉工商高校(3年) 倉田和良

優 秀 賞 千葉工商高校(3年) 森美佐緒

〃 千葉女子高校(1年) 河島雪絵

〃 桜ヶ丘養護校(2年) 松本礼子

〃 君津農林高校(3年) 勝 秀世

〃 千葉盲学校(1年) 梁 進成

優 良 賞 不二女子高校(3年) 富樫裕子

〃 船橋西高校(1年) 金子公重

〃 千葉女子高校(1年) 服部静佳

〃 君津農林高校(1年) 石川君子

〃 銚子高校(3年) 石川裕子

なお、最優秀賞の倉田和良君は、就職先の都合でYE派遣の方は断念されたので、次の森美佐緒さんに決定し、YE委員会の方で派遣手続きを完了した。

藤田ガバナーは、定刻前においでになり、最後までご熱心に熱弁に耳を傾けられご自身の採点をされておられた。

表彰式では、藤田ガバナーから賞状と副賞が渡され、松本礼子さんが、不自由な手で受取って、ガバナーとの握手も、ガバナーの方から両手で彼女の手を握られた。その時の彼女のよろこびの笑顔が今も目の奥にやきついている。

高校生の弁論は、恵まれない環境で育った者の方が生々しい体験が発表できて、聴衆の心を打つのである。いづれにしてもこの弁論大会のねらいである「若人に自分の考えを発表する場所を設け、我々が若人の声を聞く機会が得られ、両世代の歩みよりこそ今日の和の社会づくりの一助としたい」という目的は達せられたと思う。

市側と市内6クラブでの 総合対話



近頃の流れとでも言おうか、一緒に歩いているデピュティガバナーの感化か？アクティビティについての考え方に何んとか洗脳されてしまったようだ。以前は必携におけるアクティビティの解釈はクラブ単位が当然と思っていたが、デピュティガバナーの自信に溢れる姿勢で説く協同アクティビティの話に調子を合わせているうちにどうも正論の様に思えてきてしまった。

もっとも協同アクティビティと言ってもクラブ本位のうちの一部分を出し合う意味での協同であるからクラブの自主性を侵害するものではないと言う説に納得できるし又ライオン誌や多くの指導者の論説にも書いている。そんな時、今年2クラブを加えて6クラブになった船橋市内のライオンズクラブの代表者が集い合せ大橋船橋市長、伊藤教育長に呼びかけ市長公室に於て懇談会を持つことになった。

昭和58年2月25日AM10時、司会進行は私が受け持つ事になり、まず主催者を代表しデピュティガバナーL小泉昭の挨拶も結局は奉仕活動の協同の必要を訴え船橋市内6クラブの結束を唱えるものであり、従来必ずしも緊密さを欠く状況は各クラブの自主性を強調する余りの誤解に基くもので、今後は友情の結束を基本としてライオンズ本来の姿である奉仕活動への精進を企画して行こうと結んだ。

続いて大橋市長、伊藤教育長の挨拶があり懇談会に移った。議題は主に青少年の不良化防止で、多くの貴重な意見の交換を行った。時間の都合で11時30分終了し場所を三田浜楽園会議室に移し、此の会を存続しようと言う事になり各クラブに持帰り、今後の課題として研究して行く事に意見が一致した。

市当局と市内ライオンズクラブの交流の樹立に有効な会合であったと思う。

(2R PR情報委員 L木下 務記)

ライオンズスクール開校

6R PR情報委員 L 渡辺 忠治



昭和58年1月29日(土) 館山市館山シーサイドホテルに於て、6R DDDG、L平井勇主催で表記ライオンズスクールが開校された。

かねてより6R DDDG提唱のリジョンの標榜「より良きクラブへ前進、明るい運営・意義ある奉仕」を実践するためには単一クラブの充実及び活躍が基礎となり会員それぞれの自覚と信念とに因るところ大であり、今回R内9クラブの協力により現在18名の会員増強を見たのを機会に新入会員を主体として現クラブ3役及第一副会長(次期会長候補)を含めてライオンズ必携の再確認を主とした特殊研修を企画したものである。

猶各テーマ別講師には現9クラブ会長を委嘱し各会長自身が大いに勉強すると共に参加者全員相互の研鑽の場となった次第である。例年2月はライオンズ学習月間でもありこのスクール開校の意義は極めて大なるものがあつたと思ふ。

1. LC国際協会の沿革及組織 館山C L上山立男
2. 日本のLCの歴史と将来について 鴨川C L磯貝豊司
3. LCの運営について 鋸南C L池田早苗
4. LCのアクティビティについて 房洲白浜CL鈴木 晃
5. LCの会則・付則について 館山中央C L神尾 栄
6. 出席マークアップ規則について 房洲朝夷CL長谷川清作
7. 目的道徳綱領及スローガン 房洲勝浦C L金高秀年
8. TTの任務と事業資金獲得 館山北C L渡辺仁司
9. ライオンズ用語の解説 館山南C L安西喜一

本スクールの結果は、純度の高い内容に於ても、ライオンズの基本に対する「原点と理想」とが含有されており、共に学び共に育つ勉強の実践を通じ理解につながる、という相乗効果があり高く評価してよいライオンズスクールであつたと思ふ。

講師になられた各会長はそれなりに勉強したはず、新入会員には先輩の説明に理解が出来たはず、これを実施した平井DDDGの企画の本質はそこにあつたと思ふ。このRのライオンズに対する潜在力の豊かさを感じた。

(地区PR情報委員会 取材記)



アクティビティーズ



東庄LC 1982年 11月11日、青少年と語る会



1982年 12月14日、ちえおくれの子供達 140名をボウリング大会に招待 松戸LC



佐原LC 11月18日、「手話講演会」を開催



八日市場LC 12月19日、精薄児を迎え「おたのしみ会」の風景



柏グリーンLC 12月3日より障害児養護学校合同、花と太陽と希望の作品展



1982年12月27日、巨人軍河埜選手を迎える船橋京葉レオクラブ



旭LC 2月11日、青少年剣道大会



船橋中央LC 1982年12月、海洋少年団餅つき

しげんめいげん

A君のまごころ — 町の話から

松戸LC L 飯塚平八郎

A君は昨年、自動車の接触事故を起こした。原因は彼にとって100%不利だったため、A君は、相手が希望した代車を手配する一方、車を完全に修理して一件落着となった。

巷では勿論これで相済みというところであるが、A君は、これだけでは相手方に申し訳が立たないと思った。即ち、彼は人身事故に及ばなかったことに感謝するとともに、車が見た目で新品同様になったからと言って、板金塗装による隠されたキズは、もとに戻らないので、ただ直せばよいというものではないと考えたのだ。下取り価格が低くなるだろうとも考えた。

そこで彼は、更にある金品を贈り、あらためて謝罪した。

かくして、A君と相手方との間には、熱い友情が芽生えた。二人は職種違いで、すぐ何かの取り引きが始まるというわけではなかったが、年格好も同じ位ということも手伝って、いつの日か協同で事業で

もできればということで、時折、盃を交わす程の仲になったようだ。

人と人の仲は、ただ単に手を取り合って行けばよい、争わなければ足りるというものではない。その中に相互信頼というものがなければならぬ。お互いに信じ合うということは、言うは易いが難しいことだと思ふ。

藤田ガバナーは、地区ニュースNo.3で“会員増強に寄せて”と題し、具体的にライオンズマンに相応しい人物の選び方について卓見を示され、更に「一人の増強よりクラブの和の方がもっと大切だ」と結んでおられた。人一人を選ぶ厳しさについて、あらためて啓発された次第である。

私は、卑近な例ながら、A君のまごころが、如何にも藤田ガバナーの提唱される人物像に合致することに感銘し、他日彼をメンバーに推す望みをかけながら、ここ拙文を草したわけである。

C n 周年行事



船橋ポート認証状伝達式

船橋ポートLCの認証状伝達式は、1983年2月13日ららばーと大劇場で行われた。63クラブ約800名のブラザーメンバーが祝福参加し藤田ガバナーより小石会長に認証状が伝達され、LCの一単位として認証される。藤田ガバナーからは、「これで世界155ヶ国130万人のライオンズの仲間入りが出来た、ライオンズの象徴であるバッチを汚すことなく、自からを律するに厳しく、謙虚であり、ライオンズの誓いを実践して頂きたい」と挨拶があり、一般来賓も多数参加の上盛大な中にも厳粛におこなわれた。



飯岡ライオンズクラブ
結成十五周年 記念式典

飯岡LCは、1968年3月17日、旭LCをスポンサーに結成され、ここに15周年を迎えました。これまでの功績には並々ならぬ御努力があった事でありましょう。今回の記念事業も地域に密着したACTであり、町民の方々から感謝されております。今後、益々貴クラブの発展を祈ります。

15周年記念式典 おめでとう

(和田記)



レオ冬期研修会に参加して

松本花子

冬季研修会に参加してとてもよかったと思う。もし、参加できなかつたら、良いこと、悪いことを体験できなかつたと思う。

まず、第一日目は、わくわくしてたまらなかつた「自然にあふれている。」と言うからだ。

白浜少年自然の家についたとき「わーすごいな」と思った。おじさんの言うとおりでだつた。げんかんから入って大きな部屋に入った。そして、私たちは来たのが早かつたのでくオリエンテーリングをやることになつた。つろさんと鈴木ちゃんの班でいっしょにでかけた。見つかつた時、「わー見つかつた。」と喜びの声があがるが、見つからないと、「あっ方向ちがいだよ。」と言っててんてこまいだつた。それから開会式をやつたり、西村先生のこうえんをしたりして楽しい一日をすごした。

私は、大きいお兄さん、お姉さんと仲がよくなつたのに、なぜ私より年下、同級生とは、気があわないでいるのか、不思議でしやうがなかつた。

そして、第二日目。もう、今日で別れてしまうのかさびしいな。と思ひながら、いろいろの家で、もちつきをしていた。そのもちの味はかくべつだつた。さびしいと思ひているのも忘れてもちをいっしょけんめい食べていた。もちつきが終つて、ああ、もうさよならかという思ひがこみあげてきた。

最後に、みんなで紙飛行機を飛ばした時、私は、高一のお兄さんの飛行機を取つた。

「また会う日まで」を歌つて終つたになつた。もっと友達をふやしたかつた。

333-Cは、少なかつたのでC地区のクラブは、もっと参加してもらいたかつた。



レオ研修会

333B・C地区合同の研修会が1月5日・6日茨城県立白浜少年自然の家で開かれました。今回はB・C地区が分割されて初めての研修会です。参加15レオクラブ・220名、C地区より君津・富津の2クラブのみでした。企画運営はBレオ地区役員会が中心になつて行なわれました。はじめの集い、全体会議、おとうさんのひとつの歌、西村滋先生のお話、分科会、餅つき、等短時間の内にも友情の輪を拡げてまいりました。次回はもっと多くのレオ達の参加を望みます。(松本記)

受賞



MD-4L-3地区 メレール セールガバナーより、1R-DDG L上原好夫に、1981-1982 333複合地区YE委員長就任当時の、YEプログラムの功績を讃え感謝状が贈呈された。

MD-333 YE委員長 L上原好夫へライオンズムの目的の推進に対し、貴殿の忠誠と、献身的なサービスに、深甚なる感謝の意を表します。

ライオンズ国際協会 4L-3地区

地区ガバナー Lメレール セール

(註) 感謝状のライオンの絵は、前4L-3地区、ガバナー Lルーウス ショライナーの自筆によるものです。

ご紹介



根岸 巖著 「伸びよ創造性」
化学者の実践的子育て論

著者は千葉中央LCのチャーターメンバーであり、会長、ZC、DDGを歴任され6年前より入院療養中です。一時は重態を伝えられ寝たきりの重病人ですが、しかし精神力気力は充実し頭脳は明晰であり、そんな中で一つの信念に基づき身近な所から実践していった著者の経験は私共に強く訴えるものがあります。特に若い父親母親を意識して書かれたこの本は、かくれた良書であり、現代の日本で、出来るだけ多くの人に読んで欲しい本です。

こゝに同君を知る友人知人有志が相集い同君がさらに勇気と希望を以て、困難な療養生活と闘って行かれるよう、少しでもお力添えをしたいと考えた次第です。(増刷についてより抜粋)

購入申込は 千葉市中央4-8
千葉中央ライオンズクラブ事務局



アクティビティ集計表

1982.7～1983.2			金 銭 A C T			労 力 A C T			献 血			
R	Z	クラブ名	2月末 会員数	件数	金 額	1人当り金額	件数	人×時	1人当り人×時	回数	量 cc	
1	1	市 川	64	14	1,168,200	18,253	8	292	4.6	1	51,000	
		市川東■	48	32	4,662,060	97,126	15	712	14.8	—	—	
		下総中山	52	15	3,295,995	63,385	6	1,259	24.2	1	177,400	
		浦 安	38	14	1,284,706	33,806	12	1,301	34.2	1	64,000	
		行 徳	46	24	2,393,475	52,032	8	1,288.5	28.0	1	165,000	
		市川北	49	10	1,121,680	22,891	6	10,367.8	211.6	—	—	
	2	松 戸	97	19	2,747,800	28,328	9	1,697	188.6	2	113,800	
		柏	73	33	5,539,386	75,882	30	2,314	77.1	4	213,000	
		我孫子	43	15	974,840	22,670	12	1,077.1	25.1	1	53,200	
		柏中央	73	38	3,656,709	50,091	36	2,530.5	34.7	1	81,600	
		流 山	42	22	1,939,691	46,183	14	483.5	11.5	1	15,400	
		松戸中央	65	28	2,570,270	39,542	7	1,589.5	24.5	2	192,000	
		柏グリーン	66	34	3,741,010	56,681	29	2,254	34.2	2	135,800	
		松戸東	50	20	1,245,880	24,917	6	2,211.9	442.4	1	72,200	
		印 西	41	18	2,915,625	71,112	1	36	0.9	—	—	
		野 田	40	1	34,000	850	0	0	0	—	—	
	小 計	887	337	39,291,327	442,96	199	49,320.9	55.6	18	1,334,400		
	2	1	船 橋	48	15	2,660,810	55,433	8	1,827	38.1	2	52,000
			船橋中央●	60	33	10,565,480	176,091	64	5,071	79.2	3	140,800
鎌ヶ谷			37	37	4,984,696	134,721	11	628.5	17.0	2	36,600	
沼 南			23	19	1,365,545	59,371	13	1,692	73.6	2	98,200	
船橋ポート			42	11	4,694,250	111,767	2	36	0.9	—	—	
2		習志野	66	27	7,381,091	111,834	23	643	28.0	2	103,800	
		八千代	48	20	2,462,040	51,292	9	2,050.2	42.7	1	53,400	
		船橋東	58	73	2,362,530	40,733	14	2,211	38.1	5	150,300	
		船橋京葉■	29	33	3,003,625	103,573	34	1,236	42.6	11	462,800	
		船橋北	36	2	42,000	1,166	0	0	0	—	—	
		小 計	447	270	39,522,067	88,416	178	15,394.7	34.4	28	1,097,900	
3	1	成 田	57	11	1,473,700	25,854	5	732	12.8	—	—	
		佐 倉	38	11	3,079,000	81,026	6	239	6.3	—	—	
		四 街 道	50	16	887,400	17,748	9	1,363.5	27.3	1	39,200	
	2	千 葉	68	17	1,924,723	28,304	5	92	1.4	—	—	
		市 原	45	6	1,030,000	22,888	3	908	20.2	1	2,200	
		千葉中央	58	19	2,437,731	42,029	6	590	10.1	—	—	
		千葉エコー	57	21	1,440,472	25,271	4	674	11.8	—	—	
		市原南	46	18	1,084,900	23,584	3	126	2.7	—	—	
		千葉京葉●	41	16	788,576	19,233	6	619	15.1	1	44,800	
		千葉若潮	42	13	750,350	17,865	2	380	9.1	1	40,200	
	小 計	502	148	14,896,852	29,675	49	5,723.5	11.4	4	126,400		
	4	1	銚子■	99	37	2,804,638	28,329	21	1,502	15.2	1	52,400
			佐 原	88	29	2,806,490	31,891	14	1,619	18.4	1	83,400
東 庄			49	25	1,890,530	38,582	12	777	15.9	—	—	
神 崎			39	15	683,408	17,523	8	249	6.4	—	—	



1982.7～1983.2				金 銭 A C T			労 力 A C T			献 血	
R	Z	クラブ名	2月末 会員数	件数	金 額	1人当り金額	件数	人×時	1人当り人×時	回数	量 CC
4		大 栄	29	5	166,000	5,724	5	300	10.3	2	6,000
	2	八日市場	36	9	1,855,061	51,529	11	659	18.3	3	88,000
		旭	68	18	3,031,500	44,580	11	2,057	30.3	1	46,000
		総武中央	38	12	4,306,200	113,321	8	229	6.0	—	—
		飯 岡	42	12	2,297,940	54,712	4	331	7.9	1	3,200
		多 古	34	8	894,400	26,305	8	486	14.3	1	26,400
		千 漉	44	13	803,434	18,259	6	992	22.6	—	—
		山 田 町	40	16	856,598	21,414	8	444.5	11.1	—	—
小 計	606	199	22,396,199	36,957	116	9,645.5	15.9	10	305,400		
5	1	木 更 津	38	11	550,240	14,480	6	394	10.4	1	11,467
		木更津中央	39	19	1,707,185	43,773	19	1,017	26.1	1	11,800
		袖ヶ浦●	34	14	2,420,000	71,176	19	1,267	37.3	4	37,400
		木更津金鈴●	52	26	12,133,570	233,337	9	1,020	19.6	1	11,700
	2	富 津■	39	20	2,567,510	65,833	26	1,874	48.1	2	37,000
		上 総	40	16	935,895	23,397	10	1,149	28.7	—	—
		君津■●	71	23	14,281,848	201,152	29	2,354.5	33.2	1	96,600
		君津中央	38	22	770,552	20,278	11	963	25.3	1	8,800
		小 計	351	151	35,366,800	100,760	129	10,038.5	28.6	11	214,767
		6	1	館 山 ●	61	14	821,045	13,459	7	993	16.3
鋸 南	40			13	368,600	28,353	11	315.5	7.9	2	2,000
館山中央	54			14	1,679,109	31,094	7	640	91.4	2	14,400
館山北	21			10	230,060	10,955	2	140	6.7	2	5,000
館山南	34			34	577,228	16,977	6	620	18.2	1	5,000
2	鴨 川		42	12	2,036,120	48,479	4	357	8.5	—	—
	房州白浜		16	9	197,960	12,372	1	60	3.6	1	25,400
	房州朝夷		20	3	778,000	38,900	4	116	5.8	1	67,000
	房総勝浦		49	5	742,000	15,142	3	255	5.2	—	—
	小 計		337	114	7,430,122	22,047	45	3,496.5	10.4	10	172,800
7	1	茂 原	49	1	56,000	1,142	2	48	1.0	1	65,200
		上総一宮	37	7	398,800	10,778	10	208	5.6	1	2,800
		茂原長生	50	10	2,088,564	41,771	3	947.5	19.0	1	65,800
		白 子	25	10	362,850	14,514	4	187	7.5	—	—
		長 南	33	5	475,000	14,393	5	236	7.2	—	—
	2	東 金	42	15	1,072,870	25,544	16	633	15.1	1	40,600
		大網白里	28	10	405,800	14,492	5	468	16.7	—	—
		九十九里	31	12	1,478,020	47,678	13	942	30.4	1	5,000
		成 東	27	5	790,414	29,274	1	3	0.1	1	1,400
		小 計	322	75	7,128,318	22,137	59	3,672.5	11.4	6	180,800
合 計	3,452	1,294	166,031,685	48,097	775	97,292.1	28.2	87	3,432,467		

若人の叫び

県下高校生弁論大会発表原稿より

憎しみを越えたところに

千葉工商高等学校 森 美佐緒

足を引きずりながら家路を急ぎます。途中買物を済ませ、夕食の準備をしながら、朝、先生に言われたことを思い出していました。「森、このままでは欠席オーバーで進級が危いぞ。」私は全身の力が抜けていくようでした。こんな時、やっぱり母が傍にいてくれればどんなに心強いだろう。私の心の中には、いつも母がいるのです。

母が家を出て行ったのは、私が中学二年の時でした。工員の父の収入はささやかなもので、家計を助ける為に母は、昼は食堂で、夜は知り合いの小料理店で働いていました。家を空けることの多くなった母に対し、父の一寸した誤解から家庭は目茶滅茶になっていきました。怒鳴り散らす父、その脇でオドオドしている妹と弟。平和だった家庭に一度入ったひびは、二十年近くの生活の不平や不満を一気にぶつけ、到底埋め尽くせるものではありませんでした。

重苦しい日が続いたある日、とうとう母は家を出て行きました。家事は勿論、妹と弟の世話、それからの私にとっては毎日が戦場でした。

一月が過ぎた頃、母から連絡の電話がありました。私は涙を押えながら、「お母さん、戻って来なくてもいいよ。」と言いました。強がりではありません。父と無理な状態での生活が続く限り母の幸せはありません。そして、それを見て育つ子供にも幸せの限度があります。母の悲しみを半分もらい、後の半分で母の幸せの道が見つけられるのなら、少し位辛いことがあっても我慢しようと思ったからです。

あの日から五年が経ちます。高校生になってからは、父に経済的な負担をかけたくなくて近所の軽食店で働くことにしました。帰宅は十時過ぎになり、特に冬の仕事はきつく、ヒザを痛め、ドクターストップのかかったこともあります。その間絶えず続く父との言い争い。派手な仲間と付き合うようになった妹との対話、それらがすべて私にかかってきて精神的にも肉体的にも限界に達し、学校も休みがちになります。そうした時です。「出席日数が足りないぞ。」と御注意を受けたのは。私は自分で決めた道なのに、何もかも嫌になって両親を憎みました。

そんな憎しみをもち続けて生活していたある日のことあります。私達のクラブで施設の子等を招いて子供劇を見せようという企画がもちあがりました。慣れない会場作りから手作りの記念品作成、そして演出等の準備に私達はおおわらわの日々を送りました。でも当日は生憎の土砂雨にたたられ、母親に手を引かれた数名の子供達しか集まってもらえませんでした。それでも私達は、拙い劇を一生懸命演じました。ナレーターを受け持っていた私が幕間から客



席を覗いた時です。私の目に飛び込んできたものはくい入るように舞台を見つめる紛れもない母の姿だったのです。母は仕事を休んで来てくれていたのです。父の不在の時、洗濯物や家の中がきちんと片付いていたこと。時折、私達宛にお金が届いたこと一緒に帰った道々の会話から、それらの全てが母の行為であったことも知りました。母には、自分にはどうにもならない辛さや悲しみがあるのだと思います。それがたとえ、父や母の両方の行き違いから生じた別れであっても、自身の責任として、共に生活していた時のように、心をくだいてくれる母に対し私はもうおいていかれた憎しみの感情を持つことはありません。

私は母の姿から、もうここまで苦しんだんだ。苦しみの中で自分自身を大きく育てる生き方をしてみよう。と決心したのです。

現在の社会では、家族の中で感ずる空気のような母の愛も、少しづつその形を変え、離婚率の増加や私の家のような別居、蒸発が増えつつあります。そして、そうした環境に耐えられずに、私達は非行や暴走、自殺等に走ります。自分の環境に流され、押しつぶされてしまうことは簡単です。どんな理由があろうとも私達は生きていかなければなりません。人は忍耐や絶望を繰り返し、乗り越えながら、そのつど生きる勇気を持って新たな人生を切り開いていくのだと思います。私達の人生は、私達がつくりあげていくものです。その体験をどのように受け止め生かすかに依って心に潜む憎しみや愛、苦しみ、喜び等が、私達を成長させてくれる糧となるのではないのでしょうか。憎しみを越えたところに今の私があります。私は、今迄ちょっと不幸を感じたから、今度は平凡で素晴らしい家庭をつくるべく、今後も力一杯生きて行くつもりです。



若人の叫び

県下高校生弁論大会発表原稿より

大切な人

千葉県立桜が丘養護学校 松本礼子

今、あなたは大切な人がいますか。

私の大切な人は母です。母も今年で四十三になります。目じりには数本のしわがはっきりと目立ちはじめました。十六年間育ててきてくれた苦労が、私にはよくわかります。

だれしも、お母さんを思う気持ちはかわらないでしょう。私だって、世界中で一番好きなんです。こんなに好きになったのは最近のことなのです。

母親って、暖かくて、時には厳しく、そう、石けんの香りがただよっています。でも、私の母の場合は、パンのにおいがぶ〜んと鼻にはいつてくるのです。私の家は食料品店だからです。

私の母は朝は六時から三度の食事でも不規則で、夜も十二時すぎまで働き詰めの毎日です。だから、骨と皮だけになってしまうのは当然です。

忙しい母が、去年の夏、私に話しかけてくれた言葉はたったの三つでした。四十日間、その三つの言葉の他は何もないように感じました。「お〜い。これやって。」「掃除やったか。」「時間だよ。早く手伝って。」たったこれだけでした。

私はお母さんと話したかったのです。一日、いやせめて一時間でもいい、学校のこと、友だちのこと、寄宿での生活、もっともっといっぱい。それに私だって高校二年、すぐ目の前に近づいている進路のこと、苦しいほど悩んでいることを聞いてほしかったのです。おかあさん、あなたは、私のこんな気持ちを知っていましたか。

同級生の友だちなどは、悩みがあれば母親がすぐに聞いてくれるのに、私にはほんのささいな悩みでさえも、話すことができないのは、とてもつらかったのです。

「お母さんて、何だろう。」と、幾度となく自分自身へ問いかけ続けたものです。

小学校六年のある時のことでした。おじからこんな話を聞かされました。

「あんなに働いているのは、お前が障害者であることを忘れようとしているんだよ。初めて授かった子が五体満足じゃなかったんで……。」その話の続きを、私は聞いていることができませんでした。

生まれてきた私が障害を持っていると知った時、母が頼ったものは、「仕事」だったのです。働くことによって、障害者の母親としてのつらさからのがれたかったのでしょうか。

そんな母を見て、父は「働くことしか能がないのか。子どものことも少しは考えたらどうだ。」母は父の言葉にふりむきもせず、ただ黙って仕事をするばかり。「働き鬼」とまで呼ばれたこともありました。

ところが、そんな母が、去年の運動会へ、妹二人



をつれて見に来てくれたのです。私は空に大声でさげびたいほどうれしかった。母を、みんなに見せびらかしたいという気持ちにかられました。

母は忙しさを話しかけてくれる時間がなかったかも知れないけれど、いつも私のことは考え続けてくれたということがわかりました。また、仕事で私の存在を忘れようとしていたかもしれないけれど決して忘れられなかったのだということがはっきりわかったのです。

自分の子が障害者であることを、仕事によって忘れようとしていると思っていた母が、この運動会へ仕事も捨てて見に来てくれたのです。私は母に頭の下がる思いがしました。自分の思いちがいが恥ずかしかったからです。

「お母さんて、いいなあ。」

いつでも、私の後ろにいて、言葉ではいわなくても困っている時、そっと手をさしのべ悪いことをしたらおこってくれる。ふりむくとやさしくほほえんでくれる。

私は、自分の母がこんな人だったということ、初めて知ったのです。私には、母が前とは違う人としてうつってきました。

私の大切な人。

「お母さん。」

若人が精一杯 心の底から呼びかける真実の姿と音声は、文字で表現出来ない、人の心を打つものがあった。言葉の不自由な、たどたどしいその訴えはいつか会場に、「凍魂」にも似た気配が漂い、やがてそれは感動の昂りとなり、会場全体を熱いものに転化させていた。

「今の若い人にも」こんな立派な考えと心を持っている者もあったかと、改めて認識を深めると共に日本の将来に意を強くした。

(P R 情報委員会取材記)



LCIF 送金状況

57年12月31日現在

R	Z	クラブ名			R	Z	クラブ名			
1	1	市川	126,000	1人2,000円×63人	4	2	大栄			
		市川東■	130,000	10ドル×50人						
		下総中山	13,515	1ドル×53人						
		浦安	95,700	10ドル×36人						
		行徳	10,965	1ドル×43人						
		市川北	13,000	1ドル×50人						
	1	2	松戸	247,000	10ドル×95人	5	1	木更津		
			柏	17,228	1ドル×73人			木更津中央	50,000	
			我孫子	11,220	1ドル×44人			袖ヶ浦●		
			柏中央	18,200	1ドル×70人			木更津金鈴◎		
			流山	106,600	10ドル×41人		2	富津■	9,100	1ドル×35人
			松戸中央	163,800	10ドル×63人			上総	17,000	500円×34人
			柏グリーン	59,800	個人100ドル1名26,000 2ドル×65 33,800			君津■●	35,000	500円×70人
			松戸東	64,800	10ドル×24人			君津中央	17,500	500円×35人
印西	10,965	1ドル×43人								
2	1	船橋	140,400	10ドル×52人	6	1	館山●			
		船橋中央●	14,800	1ドル×62人			鋸南			
		鎌ヶ谷	9,990	1ドル×37人			館山中央			
		沼南	63,250	10ドル×23人			館山北			
							館山南			
2	2	習志野	272,850	(100ドル×5人 1,070ドル×255円)	6	2	鴨川			
		八千代	{ 122,200 48,400 }	{ 10ドル×47人 100ドル×2人 }			房州白浜			
		船橋東	132,000	10ドル×52人			房州朝夷	54,000	10ドル×20人	
		船橋京葉■	{ 7,975 35,750 }	{ 1ドル×29人 10ドル×13人 }			房総勝浦			
3	1	成田			7	1	茂原			
		佐倉					上総一宮	20,800	2,600円×8人	
		四街道					茂原長生			
							白子	7,020		
							長南			
3	2	千葉	114,000	3,000円×38人	7	2	東金	93,600		
		市原					大網白里			
		千葉中央					九十九里	8,720	1ドル×31人	
		千葉エコー	40,500	10ドル×15人			成東			
		市原南	124,200	10ドル×46人						
		千葉京葉●								
		千葉若潮								
4	1	銚子■			7	2	合計	3,094,648		
		佐原	{ 221,400 30,000 }	10ドル×82人 石橋直						
		東庄	122,200	10ドル×47人						
		神崎								



内 局 だ よ り

県内、今期予定されていましたが、新しいライオンズクラブが3クラブ誕生しました。船橋中央L、Cスポンサーで2月13日船橋ポートライオンズクラブ、流山L、Cスポンサーで3月27日野田ライオンズクラブ。船橋東L、Cスポンサーで4月3日船橋北ライオンズクラブ、それぞれチャーターナイトが終了しました。これで333-C地区は74クラブ目が誕生したわけです。お蔭様でガバナー任期中の目標のEXTが出来ました。皆様の御協力に感謝申し上げます。又、333-C地区年次大会、333-複合地区年次大会も目前に近づいて来ました。多数の参加をお願い致します。日程は下記の通りです。

年次大会

- ・ 1983. 5. 8(日) 333-C地区年次大会
(習志野市文化ホール)
レオライオネスフォーラム
(習志野市文化ホール)
- ・ 1983. 5. 22(日) 333 複合地区年次大会
(千葉県文化会館)
- ・ 1983. 5. 21(土) 同前夜祭

333-C 地区年次大会

58. 5. 8(日) 於 習志野文化ホール	
○登録受付	9:00 ~ 13:20
○代議員会	10:00 ~ 12:30
○レオ・ライオネスフォーラム	10:00 ~ 12:00
○年次大会	13:30 ~ 16:00
○ガバナーエレクトを囲む会	16:30 ~ 18:00

333 複合地区年次大会

58. 5. 22(日) 於 千葉県文化会館	
○代議員大会登録受付	8:30 ~ 9:20
○代議員大会	9:30 ~ 12:00
○年次大会登録受付	8:30 ~ 12:50
○年次大会	13:00 ~ 14:00
(半日コースエクスカージョン) 14:20 ~ 19:00	
会場→成田山→新東京国際空港→国鉄千葉駅 解散	

お 知 ら せ

物故会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

銚子LC 故L村田 蔵 昭和57年12月15日
船橋LC 故L深川 仁作 昭和57年12月16日

例会場 例会日変更

市原LC 市原市民会館 TEL.0436-22-7111
第2・4水曜日 19:00 ~ 20:15
富津LC 毎月第1・4木曜日 19:00 ~ 20:15
例会場は従来通り

3月27日(日) 野田LCチャーターナイト
4月3日(日) 船橋北LCチャーターナイト
4月10日(日) 第4回キャビネット会議
5月8日 333-C地区 年次大会
5月22日 333 複合地区 年次大会
6月12日 第5回キャビネット会議

編 集 後 記

暖かさが、日一日と肌に感じます。各Rでは、第三回目のゾーンミーティング等が行われ、期末を思わされますが、年間の締括りの年次大会、複合地区大会があります。キャビネット及ホストクラブは日夜その準備に取り組んでいます。YE交換学生も無事帰国し、大型ACTも続々基金が寄せられ、目標間近になりました。特に1月22日に行なわれた、高校生弁論大会は素晴らしい成果を上げました。高校生の現在の考え方、立派な行為、将来の抱負の弁論がありマナーを含め、聞く人々を感動させました。今回この記事を多く取入れましたので、寄稿いただきました全部の原稿を掲載出来なかった事をお詫び致します。表紙に書かれています「愛」は、6R2Z ZCL関の直筆であります。愛はウイサーブの原点であり奥の深さを感じます。L関 ありがとうございます。ここで年次大会を中心に、藤田ガバナー習志野キャビネットの花を皆んなの力で、咲せようではありませんか。これまで当委員会に寄せられました、皆様の御厚情にお礼申し上げます。

(L 和田 孝)

発 行 人

PR情報委員長：中村清成 副委員長：和田孝 編集委員：森秀夫、林英一
PR情報委員：伊藤健司、木下務、潮田洸、長島彪、佐久間源隆、渡辺忠治、渡辺豊